戦略推進計画(2025) 実績評価、事業評価、施策評価基準

１　はじめに

経営戦略を推進するための主要な事業を定めた「戦略推進計画」は、実績評価、事業評価及び施策総合評価を行い、進捗管理を行うとともに、前向きな改善方策を検討の上、毎年度ローリング方式により見直しを行っていきます。

評価については、経営戦略2025ではＣＡＰＤｏ（改善サイクル）による進捗管理を行うことから、現状把握・評価から改善方策に繋げていくことを重視した評価とします。また、甲府市総合計画の評価方式を参考とする中で、評価方法を改善していきます。

２　実績評価基準

区分	達成の度合	数値目標（定量）	数値目標以外（定性）
T5	目標を上回る達成	110%以上	目標を大幅に超えた成果等
T4	ほぼ目標どおりの達成	90%以上110%未満	ほぼ目標どおりの成果等
T3	目標をやや下回る達成	70%以上90%未満	目標をやや下回る成果等
T2	目標を未達成	50%以上70%未満	目標どおりの成果に至らない
T1	目標を著しく未達成	50%未満	目標を大幅に下回る成果等
－	未実施	未実施	未実施

３　事業評価基準（総合計画の事務事業評価票記載要領参考　※必要性・妥当性、有効性、効率性・公平性）

事業評価は、業務指標の達成状況や取組等を総合的に勘案し、今後どのように事業推進するかを評価する。

A：「拡大」	社会情勢や市民ニーズにこたえるため、積極的に取り組むべき事業
B：「継続推進」	概ね計画通り進捗し、引き続き実施すべき事業
C：「改善・見直し」	一定の成果は出ているが、コストや実施方法を見直した上で実施すべき事業
D：「統合・縮小」	事業の進捗・実績等から、他の事業と統合又は規模を縮小して実施すべき事業
E：「休止・廃止」	事業の進捗・実績等から、一時的に休止又は廃止すべき事業
F：「完了」	計画年度をもって完了した事業

４　施策総合評価（推進委員会として行う。）

年度末の業務指標の実績及び事業評価結果を総合的に勘案し、今後の方向性を示す。

A	B	C	D
より積極的に推進する	継続して推進する	改善して推進する	方向性を見直す